

◇◇◇ 宮崎医科大学 昭和 53 年入学 & 昭和 59 年卒業 大同窓会 ◇◇◇

今回の同窓会の始まりは、2023 年 11 月 11 日の篠懸会講演会・懇親会でした。その場で 4 期生の加藤丈司先生が、「4 期生は卒後 40 周年同窓会をやって楽しかった」と、嬉しそうに話されました。確かに、卒後 40 年は定年退職の時期です。第二・第三の人生を歩み始める時期でもあります。2024 年は同窓会を開催するのに実に良いタイミングと思われました。

それでは、同窓会をいつ・どこで行うか？ 2024 年 10 月 13 日の大学開講 50 周年記念の催しに合わせるという案、「東天閣」という昔懐かしい案などが挙がりましたが、日時は 8 月 24 日の午後 4 時、会場は ANA ホリディ・イン リゾート宮崎と決定しました。4 期生の“パクリ”です。

昭和 53 年入学および昭和 59 年卒業の同窓生は 120 名です。2 月 11 日に物故者や不明者を除く 100 名に案内状を発送しました。最終的に参加表明は 45 名（1 名は参加費のみの参加）となり、「大」同窓会と言って良い体裁になりました。しかしながら、8 月 24 日が近づくにつれ、コロナ感染の増加、直前の地震や台風など「大」同窓会開催に対する不安要素満載でした。しかし、それらは杞憂に終わりました。すばらしい青島の天気のもと、同窓会は多くの参加者にて始まったのでした。

当日の参加者は 44 名（当日 1 名欠席、1 名は参加費のみの参加。内訳は、宮崎県内：18 名、宮崎以外の九州内：5 名、中国地区：2 名、関西地区：6 名、東海地区：4 名、関東地区：8 名、東北地区：1 名）でした。午後 4 時から午後 7 時まで講演会形式での近況報告会、午後 7 時から午後 9 時まで懇親会を兼ねた近況報告会でした。途中、全員での写真撮影などにより中断はありましたが、参加者全員の近況報告は、1 人 5 分以内という制限にて、午後 4 時開始から午後 8 時前まで行われました。スライドでの発表もあり、皆、場慣れして 40 年の辿ってきた道を淡々と話されていました。自分の書いた本の紹介や、亡くなった同窓生の在りし日の写真をスライドに出す同窓生もいました。子供にまだお金がかかるため仕事を頑張らなければと言えば、会場から「がんばれ」と声援が飛んでいました。懇親会では、昔のポリクリグループで写真を撮る人、昔の部活の仲間と LINE を交換する人、昔の〇〇荘の話で盛り上がる人など、それは楽しい同窓会となりました。

午後 9 時、閉会とともに、30 名近くの同窓生をマイクロバスで、青島から宮崎市中心部に送り出

しました。一部はそれから二次会だったのでしょうか。翌日は、同窓生同志のゴルフという計画もありました。

同窓会は、いわば生存確認の場でもあります。今回は、物故者が 11 名でした。学生時代の在りし日の姿を思い出しながら、全員で黙祷を行いました。次は、卒後 50 周年の生存確認でしょうか？ その時も、元気で参加して、皆の顔を見たいと思っています。

[文責：松尾 剛志 5 期生代議員]

